

報告：第14号

9月3日(木) 01 山田 厚 議員 答弁資料目次 (令和2年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
1-1 1-2 1-3	新型コロナウイルス感染症への予防対策等について	市長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
2-1 2-2	医療機関及び福祉施設への支援について	危機管理監	1
2-3	P C R検査体制の更なる強化について	福祉保健部長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	市立小中学校の I C T教育について	教育長	1
3-2 3-3	子どもの心身の健康確保について	教育部長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
4-1	職場内における職員の感染症まん延の防止策について	総務部長	1
4-2	労働相談体制と「はたらく者のサポートガイド」について	産業部長	2
4-3	コロナ禍における職員の健康と安全及び人員の確保について	総務部長	3

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
5-1 5-2 5-3	新型コロナウイルス感染症以外の健康管理と予防について	福祉保健部長	1

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

市立小中学校のICT教育について

- (1) 質問者 山田 厚 議員
- (2) 質問日 9月3日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、新学習指導要領において、「これからの学校には、一人ひとりの児童生徒が、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とし、主体的・対話的で深い学びの実現を求めています。

市教育委員会では、授業は、教師と子どもが、対面で、人間的なふれあいを通して、学ぶことが基本であると考えており、ICTについては、学習の内容や場面に応じ、効果的に活用することで知識・技能の確実な習得や思考を深め・広げるなど、授業の質の向上を図るために使用するものであると考えております。

学校現場では、すでに導入されている大型ディスプレイを使って、画像や動画、各児童が書いた意見などを表示し、学習の見通しを持たせ、思考を深める授業やタブレット型パソコンを使って、自分の動きを写真や動画で撮影・再生し、技能面における自己の課題を見付け、技能の向上の程度をとらえる授業、インターネットを用いた調べ学習の成果をプレゼンテーションソフトで発表する授業等が実践され、その効果が報告されております。

また、授業におけるICT機器の活用に係る教員研修を年次的に行い、スキルアップを図ってきております。ICT化を進めることにより、教員の校務の効率化やより学習効果の高い授業づくりが期待されていることから、

報告：第14号

導入期の教員の負担を軽減し、円滑で効果的な活用に向け、学校ICTの活用推進に組織的・計画的に取り組んでいくために、本定例会に補正予算として、サポートティーチャー事業費を提案したところであります。

今後におきましても、全ての児童生徒に、情報活用能力をはじめ、これからの時代を生きる基盤となる資質・能力の育成に努めてまいります。

報告：第 14 号

令和 2 年 9 月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

子どもの心身の健康確保について

- (1) 質問者 山田 厚 議員
- (2) 質問日 9 月 3 日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市はこれまで、文部科学省の「児童生徒の健康に留意して I C T を活用するガイドブック」に示されている背中を伸ばし、姿勢が悪くならないよう、体格に合わせた机・椅子等の整備を進めるとともに、パソコン教室を中心に児童生徒の目の疲労・その他の影響を軽減するため、画面の見やすさに配慮した反射防止対策が施された照明や遮光カーテンなどを整備してきたところであります。

また、タブレット端末を使用する際には、角度の調整や椅子の座り方等を各学校で指導をしております。

さらには、スマートフォン等を利用する際の家庭でのルール作りとともに、ノー・テレビ・スマホ・ゲーム・デーの実施を学校に促すなど、長時間の利用を避けるための取組を進めているところであります。

今後におきましては、G I G A（ギガ）スクール構想による 1 人 1 台端末の利活用を前提とし、文部科学省が改善のポイントや専門家の視点を踏まえ本年 6 月に策定した「教育の情報化に関する手引」と、厚生労働省の「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」を参考にしつつ、引き続き、I C T 活用推進による児童生徒の健康面に配慮した取組に努めてまいりたいと考えております。

報告：第14号

9月3日(木) 03 金丸三郎 議員 答弁資料目次(令和2年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	マスク購入券配布事業実施に至る経過と実績の検証について	市民部長	3
1-2	広域連携への取組について	市長	1
1-3	ポスト開府500年への展望について	市長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	「リニアサミットinこうふ500」の開催について	リニア交通政策監	1
2-2 2-3	「新駅周辺の土地利用」及び「新駅名称の提言」について	リニア交通政策監	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	義務教育課程における教育格差を生じさせない取組について	教育長	1

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

義務教育課程における教育格差を生じさせない取組について

- (1) 質問者 金丸 三郎 議員
- (2) 質問日 9月3日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、新型コロナウイルス感染症による臨時休業を受け、教育委員会及び学校が主体となって児童生徒の家庭学習を支援するために可能な限りの措置を講じるよう求めたところであります。

このような中、本市では、臨時休業中であっても児童生徒が計画的に学習を継続できるよう、学校再開後も見据え、教科書を主体とした学習課題を課すことを各校に指示し、各校では、各家庭に紙媒体による課題を配布するとともに、電話や家庭訪問による確認や助言、提出された課題の添削などのフォローアップも行ったところであります。

さらに、家庭学習支援の一環として臨時休業中と夏季休業中の二期に分け、市立全36小中学校が総力を結集し、学習動画計126本をネット及びCATVで配信したところであります。

学校再開後につきましては、本年度予定していた学習内容を年度内で終了できるよう夏季休業日を短縮し、必要な授業日数を確保するとともに、各校に教育課程の再編成を求めたところであり、各校では、時間割の工夫、行事の精選等を図った結果、現在、順調に教育課程が実施できているとの報告を受けております。

また、2学期以降の取組につきましては、学習指導員を各校に1名ずつ配置し、より丁寧な学習指導を行える体制をつくとともに、ふたたび臨時休業

報告：第14号

になった際に学校と児童生徒が学習指導等に係る双方向のやり取りを円滑に行える環境を整備するため、Wi-Fi環境がない家庭に対する貸与を目的としたモバイルルーターや各校が学習動画制作・撮影に使用するカメラやマイク等の費用を本定例会に補正予算として提案させていただいたところであります。

今後におきましても、「地域」という共通の生活空間をともにする全ての子供たちの学びを保障し、これからの社会を生き抜く力を育むという公立学校の役割を踏まえ、コロナ禍はもとより、学校ICTの活用を推進し、子供たちが安全で豊かな学校生活を送れるよう、学習・生活両面にわたる指導の充実、及び環境の整備に努めてまいります。

報告：第14号

9月3日(木) 04 植田年美 議員 答弁資料目次(令和2年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	SDGsの推進について	市長	1
1-2	SDGsの推進と気候変動非常事態宣言について	環境部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	ウィズコロナ時代を踏まえた政策形成の今後の基本的な考え方について	市長	1
2-2 2-4	新しい生活様式に向けた情報政策について	総務部長	2
2-3	GIGA(ギガ)スクール構想について	教育長	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	重度心身障害者医療費の新しいシステムについて	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	パートナーシップ宣誓制度の導入について	市民部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2	健康都市宣言後の施策について	福祉保健部長	1

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

GIGA（ギガ）スクール構想について

- (1) 質問者 植田 年美 議員
- (2) 質問日 9月3日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課・学事課
- (5) 答弁内容

国は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、子どもたちの学びを保障するためには、GIGA（ギガ）スクール構想の1人1台端末の整備を急務とし、国庫補助金の前倒しを行うとともに、地方創生臨時交付金の活用により、ハード・ソフト・人材の一体的な整備を促進することで新たな時代に相応しい教育の実現を目指しているところであります。

これまでも、市教育委員会では、ICTの整備・導入と活用・研修は、一体となって進めることが重要であると考え、パソコン教室へのタブレット型端末の配備等とともに、年次的にICT活用に係る教員研修を実施してまいりましたが、今後は、1人1台端末を前提にした効果的な学習指導が求められることから、学校ICTの活用推進体制の構築を早急に進めるため、本定例会に補正予算としてサポートティーチャー事業費を提案したところであります。

具体的には、今年度中に、専門的人材の活用も図る中で、市教育委員会及び市立小中学校に係る中期的な学校のICT活用推進全体計画の策定、1人1台端末を踏まえた情報セキュリティポリシーの改訂、実際の授業場面を想定した活用に係る教員研修や授業の試行、使用マニュアルの整備と周知などを行っていきたいと考えております。

今後におきましても、文部科学省・総務省・経済産業省等が連携して進め

報告：第14号

るGIGAスクール構想の加速・強化等に係る動向を注視し、新しい時代を生きる子どもたちに、情報活用能力や言語能力など必要な資質・能力を育むための学校教育の充実に努めてまいります。

報告：第14号

9月4日（金）06 木内直子 議員 答弁資料目次（令和2年9月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	核兵器禁止条約に対する見解について	市民部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	PCR検査の拡充について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2 3-3	中小企業・小規模事業者の支援について	産業部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	学生への支援について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2 5-3 5-4	生活困窮者等へのエアコン設置の支援について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1 6-2	「こうふ男女共同参画プラン」について	市長	1
6-3	ジェンダー平等を目指す取組について	教育長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
7-1 7-2	コロナ感染拡大時の公民館利用について	教育部長	1

報告：第 14 号

令和 2 年 9 月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

ジェンダー平等を目指す取組について

- (1) 質問者 木内 直子 議員
- (2) 質問日 9 月 4 日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

男女混合名簿使用状況につきましては、今年度、小学校では、新たに 4 校が加わり、使用校数は、全体の 8 割程度となり、年々、増加している状況であります。

一方、中学校及び甲府商業高校では、小学校と比べ、第二次性徴の進展に伴い、男女の性差が顕著になることへの指導上の配慮や学校規模が大きくなることによる身体測定等の事務処理に係る効率性などから、全ての学校で男女別名簿が使用されております。

市教育委員会では、学校教育活動全体を通して、男女共同参画の意識作りを行っていくことが大切であると考えておりますので、名簿の形式については、これまでどおり、各学校の主体的な判断を尊重してまいりたいと考えております。

今後におきましては、社会科、家庭科、道徳、学級活動等学校教育の様々な機会を通じて、男女が、お互いに尊重し協力し合い、それぞれの能力をいかんなく発揮できるための教育に努めてまいります。

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

コロナ感染拡大時の公民館利用について

- (1) 質問者 木内 直子 議員
- (2) 質問日 9月4日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 生涯学習課
- (5) 答弁内容

新型コロナウイルスの感染者数は、引き続き高い水準で推移しており、国の大規模イベントの開催制限や県の感染拡大協力要請が、9月末まで再延長されたほか、市内におきましても新たな感染者の確認が続いております。

こうした状況の中、市民の皆様が安心して使用していただけるよう、公民館におきましては、「甲府市新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を作成し、適切な感染予防対策を講じた上で、開館をしております。

このうち、1回の使用時間につきましては、長時間使用による感染リスクを低減するとともに、使用後の換気や消毒作業に一定の時間を要することから、2時間の制限を設けさせていただいております。

また、使用回数につきましても、なるべく多くの団体に使用していただけるよう、月1回の制限を設けさせていただいております。

これらの条件を緩和することにつきましては、今後の感染状況を踏まえる中で、適切な判断をしてまいりたいと考えております。

なお、現在、使用料につきましては、利用者の皆様に丁寧なご説明をするなどして、一定のご理解をいただいているところであります。

今後につきましても、引き続き、利用者の不安解消に向けて、感染対策に万全を期してまいります。

報告：第14号

9月4日（金）07 小澤 浩 議員 答弁資料目次（令和2年9月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
1-1	こうふ開府500年記念誌等の利用状況等について	総務部長	1
1-2	信玄公生誕500年記念事業への本市の関わりについて	総務部長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
2-1 2-2 2-3	「日本女性会議2021 in 甲府」について	市民部長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	G I G A（ギガ）スクール構想の実現について	教育部長	1
3-2	学習指導員及びスクールサポートスタッフの配置について	教育長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
4-1	コロナ禍における経済対策について	市長	1
4-2	アフターコロナ時代を見据えた企業誘致について	まちづくり部長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
5-1	成年後見制度の利用促進に対する取組について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
6-1 6-2 6-3	晩腐病によるブドウへの被害について	産業部長	1

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

G I G A（ギガ）スクール構想の実現について

- (1) 質問者 小澤 浩 議員
- (2) 質問日 9月4日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市のG I G A（ギガ）スクール構想においての校内ネットワークの整備につきましては、品質を確保しながら、早急に整備を図る必要があるため、設計と施工を分離し、着実な事業推進を図ることとしたところであります。

具体的には、すべての学校の品質を統一的な基準にするため、一元的に設計管理を行うこととし、施工については、市内を4ブロックに分け効率的に事業を進めているところであります。

これらの取組により、年度内には整備が完了できる見込みであります。また、1人1台端末の整備につきましては、国の補助金を活用する中で、早期に実現を図ることとし、市立小中学校の全児童生徒への令和2年度中の端末の配備に向け、本定例会に699,382千円の補正予算を提案したところであります。

今後におきましても、S o c i e t y（ソサエティ）5.0時代を生きる本市の子どもたちの学びの実現に向けたI C T教育の着実な推進に取り組んでまいります。

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学習指導員及びスクールサポートスタッフの配置について

- (1) 質問者 小澤 浩 議員
- (2) 質問日 9月4日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

国では、社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないとし、学校教育においては、万全の感染症対策を講じつつ、子どもたちの健やかな学びを保障することを求めています。

本市では、学習指導員、及びスクールサポートスタッフは、教員の負担を軽減し、本来の業務である授業をはじめとした子どもたちへの指導に注力するために有効であると考え、全36小中学校に各1名と甲府商業高校に学習指導員1名の計73名の配置を計画したところであります。

一方、短期間での大量雇用という状況から人材確保に困難が予想されたことを踏まえ、雇用・配置にあたっては、一日当たりの勤務時間数を柔軟に選択できるようにするとともに、各校のニーズと当該人材の経歴・資格等のすり合わせを丁寧に行うなどの工夫を行った結果、すでに、全ての学校に配置を完了しております。

実際の業務につきましては、学習指導員は、授業での個別支援やティームティーチング、スクールサポートスタッフは、消毒や健康観察の補助、印刷など、各学校が必要とする業務を行っており、活用が始まってからの期間は

報告：第14号

短いながらも、学校現場からは、コロナ禍による教員の負担が軽減され、非常にありがたいとの評価をいただいております。

今後につきましても、学習指導員やスクールサポートスタッフの方々の力をお借りしながら、児童生徒が、安全で、豊かな学校生活を送ることができるための環境づくりに努めてまいります。

報告：第14号

9月4日（金）08 末木咲子 議員 答弁資料目次（令和2年9月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	「甲府市協働支援センター」及び「甲府市子ども応援センター」について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム等の活用について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	不妊治療と仕事との両立支援について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	児童虐待防止について	子ども未来部長	1
4-3 4-4	児童生徒の性被害・性暴力への対応について	教育長	2
4-5	チャイルド・デス・レビューについて	子ども未来部長	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2	カリキュラム・マネジメントについて	教育長	1

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

児童生徒の性被害・性暴力への対応について

- (1) 質問者 末木 咲子 議員
- (2) 質問日 9月4日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

内閣府は、本年6月、法務省、文部科学省、厚生労働省など関係省庁との協議を経て、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を決定し、性犯罪や性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼすとして、性犯罪者に対する再犯防止施策の充実、切れ目のない手厚い被害者支援の確立、教育・啓発活動を通じた社会の意識改革と暴力予防など、この問題に社会全体で、総合的に取り組むこととしております。

これまでも、市教育委員会では、各校に対して、技術・家庭科や学級活動、道徳の授業などにおいて、SNSとの付き合い方を学ぶ折に、国や県の作成したパンフレットなども活用しながら、コミュニティサイトでの出会いや自撮り画像の送信に潜む危険性などについて、注意喚起するよう、指導してまいりました。

また、児童生徒が、児童虐待やいじめなど、学校生活や家庭生活における心配事について相談しやすくなるよう、スクールカウンセラーや養護教諭等による相談体制の整備、24時間子供SOSダイヤル等の相談窓口の周知と

報告：第14号

ともに、生徒指導担当の教員を対象とした児童虐待に係る研修も開催してまいりました。

今後におきましては、児童生徒の発達段階に合わせ、嫌なことをされたら信頼できる大人に相談すること、親密な関係でも、嫌なことは嫌と言う、相手が嫌と言うことはしないなどの指導や相談を受けた場合の対応に係る教員研修などに努めるとともに、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」において文部科学省の分担として、行うこととなっている「子供を性暴力の当事者にしないための生命（いのち）の安全教育の推進」や「学校等における教育や啓発の内容の充実」等に係る実施工程を注視してまいります。

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

カリキュラム・マネジメントについて

- (1) 質問者 末木 咲子 議員
- (2) 質問日 9月4日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、子どもたちが、情報化やグローバル化など急激な社会変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育の実現のため、学校に対して、何をどのように学び、何ができるようになるのかを明確に位置付けた教育課程を編成し、その達成のために、地域の人的・物的な資源を活用するとともに、その改善を図っていく、カリキュラム・マネジメントの確立を求めています。

これまでも、市教育委員会では、各校に、教育目標と目指す子ども像の実現のための重点目標や具体的な教育活動、家庭や地域との連携などをまとめた、スクールプランの作成を求め、年度当初に、私が学校長と個別に面談し、指導・助言を行っております。

また、年度末には、教職員、保護者・地域等による学校評価を行い、PDCAサイクルに基づいた改善を図るよう指導しております。

さらに、各校では、スクールプラン、及び学校評価の結果等を学校だよりやHPで家庭や地域に周知し、理解と協力による学校づくりを進めているところでもあります。

報告：第14号

新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休業後の学校再開にあたっては、市としての統一性と各校の裁量とのバランスを図った教育活動が展開できるよう、感染症対策や学習活動等の留意事項等についてまとめた、市独自の「学校再開ガイドライン」を作成し、現在、各校は、このガイドラインに基づき編成した教育課程を順調にこなしており、年度当初予定していた学習内容を終わられる見通しであります。

今後におきましても、各校が設定する教育目標を実現するための効果的なカリキュラム・マネジメントについて、必要な指導等を行う中でさらなる教育の質の向上に努めてまいります。

報告：第14号

9月7日(月) 09 小沢宏至 議員 答弁資料目次(令和2年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	新型コロナウイルス感染症に対する体制強化について	福祉保健部長	1
1-2 1-3	インフルエンザ予防接種について	福祉保健部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	流域治水の取組の実績と今後の方針について	市長	1
2-2	民有地に堆積した災害ごみの取り扱いについて	まちづくり部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	小中学校の自転車通学者の保険等の加入状況と交通安全教育について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	スマート林業への取組について	産業部長	1

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

小中学校の自転車通学者の保険等の加入状況と交通安全教育について

- (1) 質問者 小沢 宏至 議員
- (2) 質問日 9月7日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

警察庁の事故件数調査によれば、令和元年中に自転車に関わった交通事故は80,473件であり、死傷者78,982人のうち、19歳以下が、その3割を占めております。

このような中、県は、本年4月に「山梨県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定し、自転車利用者や自転車を利用する未成年の保護者等に自転車損害賠償責任保険等への加入義務を課したところであります。県条例では、学校に対して、本年、4月1日からの児童生徒への自転車交通安全教育等の実施、及び、10月1日からの自転車通学者に対する保険等への加入の確認等と全ての自転車利用者に対する保険等に関する情報提供等に努めるよう求めています。

市教育委員会では、これまでも、各校に対して、交通安全教育に係る計画の作成を求めており、各校では、児童生徒の発達段階に合わせ、学級活動や保健体育科等において、自転車の安全な乗り方や交通事故防止について学ぶとともに、市消費生活課や警察署による交通安全教室等を実施し、体験的な学習も行っております。

報告：第14号

また、県条例の制定に合わせ、全ての児童生徒・保護者への保険等に関する情報提供を指導したところであり、自転車通学者の保険等への加入状況の確認につきましても、すでに取り組が始まっており、今年度中に、全ての学校で実施する予定であります。

今後につきましても、引き続き、各校における交通安全教育の充実を図る中で、安全で安心な地域社会の実現に努めてまいります。

報告：第14号

9月7日(月) 10 望月大輔 議員 答弁資料目次(令和2年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	新型コロナウイルス感染拡大による地域経済への影響について	市長	1
1-2	地方創生臨時交付金など国の支援策の利用状況について	企画部長	2
1-3	減収補填債の活用について	企画部長	3
1-4	移住促進の取組強化について	総務部長	4

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	災害時における消防団との情報共有について	危機管理監	1
2-2	消防団の危機管理体制について	危機管理監	2
2-3	「国土強靱化 地域計画」策定への検討状況について	危機管理監	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2 3-3	放課後児童クラブの課題解決について	子ども未来部長	1
3-4	甲府市子ども応援センターの役割と今後の取組について	子ども未来部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	世界がつながるまち について	教育長	1
4-3	国際交流員(CIR)の今後の取組について	総務部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	マイナポイント利用促進への取組について	市民部長	1

報告：第14号

令和2年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

世界がつながるまちについて

- (1) 質問者 望月 大輔 議員
- (2) 質問日 9月7日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、新学習指導要領において、情報化やグローバル化といった社会的変化が予測を超えて進展する状況を踏まえ、一人ひとりが未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む学校教育を実現するとしております。市教育委員会では、小学校における新学習指導要領の全面実施に備え、外国語教育の教科化、プログラミング教育の導入等の準備を段階的に進めてまいりました。

具体的には、外国語教育につきましては、年次的に、外国語教育に係る教員研修や外国語によるコミュニケーション活動の事例集の作成・配布などを行うとともに、今年度は、JETプログラムを活用し、3・4年生の外国語活動、及び5・6年生の外国語科へのALTの配置を計画しておりますが、現時点では、コロナ禍により、JETプログラムによるALT派遣が中断しております。

再開後は、外国語教育の全授業にALTの配置ができる予定であります。

また、プログラミング教育につきましては、昨年度、全 36小中学校にプログラミング教育に係る教材ソフトを入れたタブレット型パソコンを配

報告：第14号

備し、各教室においても利用できる環境を整えるとともに、各校では、プログラミング教育の全体計画を作成し、現在、さまざまな教科で、取り組んでおります。

今後につきましても、外国語教育やプログラミング教育の充実を図る中で次代を担う子どもたちが、変化の激しい社会で生き抜いていくための資質・能力の育成に努めてまいります。

次に、外国籍の子どもへの教育的支援につきまして、これまでも、市教育委員会では、外国籍の子どものいる家庭に対する入学案内の送付や説明会、個別相談等を実施する中で、現在、214名の外国籍児童生徒の受け入れを行っております。

入学後につきましては、現在、日本語の習得や日本の生活への適応に係る支援が必要な89名の外国籍の児童生徒に対し、県費負担の日本語指導教員5名に加え、市独自に外国語の堪能な日本語指導員9名を雇用し、指導を行っております。

また、在籍校においては、当該児童生徒の実態に応じた「特別な教育課程」及び「個別の指導計画」を作成し、組織的・計画的な指導を行っております。

今後におきましては、本年7月1日に文部科学省が策定いたしました「外国人の子供の就学促進及び就学状況の把握等に関する指針」を踏まえ、外国籍の子どもの就学機会を保障し、共生社会の一員として共に学ぶ環境づくりに努めてまいります。

報告：第15号

9月14日(月)05 清水英知 議員 答弁資料目次(令和2年9月 決算審査特別委員会)

1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	昨年度の市民生活及び地域経済の認識について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	すこやか子育て医療費助成制度の対象年齢の拡大について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	就学援助について	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	国民健康保険料の負担軽減について	市民部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	中小企業等訪問プロジェクトについて	産業部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1	「トップランナー方式」による影響について	企画部長	1

報告：第15号

決算審査特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

就学援助について

- (1) 質問者 清水 英知 議員
- (2) 質問日 9月14日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市では、児童生徒が経済的な理由により教育を受ける機会が制限されることがないように、就学援助制度等の充実に努めるとともに、こうした制度が有効に活用されるよう積極的な周知を図っているところであります。

具体的には、「広報こうふ」や「市ホームページ」への掲載はもとより、学校現場においては、年度当初に児童生徒を通じたお知らせと申請書の配布を行うとともに、保護者からの様々な相談の折に制度の周知や利用手順の案内を行っているところであります。

また、昨年度につきましては、国の基準の改正にあわせ、入学準備費等の単価の引き上げを行ったところであり、本年度も本定例会に同様の引き上げを補正予算として提案したところであります。

なお、この間、「子ども就学支援 給付金」の制度創設を図り、コロナ禍において家計が急変した児童生徒の保護者に対して現在、支援を行っているところであります。

本市の就学援助の認定基準等につきましては、全国的に見ても標準的なものであると捉えており、今後におきましても、現行の制度を維持しつつ真に援助を必要とする世帯に支援を行ってまいりたいと考えております。

報告：第15号

令和2年9月25日

甲府市議会議長 兵道 顕 司 様

決算審査特別委員長 坂本 信 康

報 告 書

去る9月7日の本会議において、当委員会に付託されました、議案第110号 令和元年度甲府市各会計別決算の認定について、議案第111号 令和元年度甲府市地方卸売市場事業会計決算の認定について、議案第112号 令和元年度甲府市病院事業会計決算の認定について、議案第113号 令和元年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について及び議案第114号 令和元年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についての5案について、9月14日から9月23日までの10日間にわたり慎重に審査を行いました。

以下、その経過と結果について御報告いたします。

委員会は冒頭、総括質問を行いました。

その主な内容は次のとおりです。

教育費については、学校の安全管理体制についてただしたのに対し、リスクマネジメント及びクライシスマネジメント体制を強化するため、全ての小中学校に防犯カメラの設置を決定するとともに、子どもたちが安全・安心な学校生活を送ることができるよう、来校者の氏名・来校目的の記入及び入校証の着用、不審者侵入時の訓練等を実施したとの答弁がありました。

これに対し、子どもたちを守ることはもとより、教職員の安全を確保した上で地域や警察と連携を図るよう求める意見がありました。

このほか、主な意見等は次のとおりです。

- 1 学校給食費の公会計化などにより教職員の負担軽減を図り、多忙化解消に努めること。
- 1 学校給食の食材については、地域の農業を支える観点からも、引き続き地産地消に努めること。

報告：第15号

- 1 埋蔵文化財については、出土品等の管理や活用について検討していくこと。
- 1 武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）については、様々な企画や展示品の充実を図り、再来訪も含め誘客の促進を図ること。

以上が議案第110号（教育委員会分抜粋）の審査における質疑の概要であります。

この後、反対・賛成討論があり、採決の結果、議案第110号 令和元年度甲府市各会計別決算の認定についてのうち、一般会計決算並びに国民健康保険事業、住宅新築資金等貸付事業及び後期高齢者医療事業の各特別会計決算については、多数をもって、交通災害共済事業、介護保険事業、古閑・梯町簡易水道事業、農業集落排水事業、簡易水道等事業、浄化槽事業及び母子父子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計決算については、全員異議なく当局提案のとおり認定するものと決しました。

最後に、市長から、令和元年度は、開府500年や中核市への移行など大きな節目を迎えたが、新型コロナウイルス感染症への対応により、厳しい行財政運営の中、限られた財源を有効に活用し、市民福祉の増進と地域の活力向上に努めてきたところであり、引き続き新型コロナウイルス感染症への迅速かつ適切な対応に努めるとともに、第六次甲府市総合計画はもとより、こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTに位置付けた施策を着実に推進し、都市像である「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」の実現に向け邁進していくとのあいさつがありました。

以上が委員会審査の経過と結果であります。本市においては、今後も厳しい財政運営が見込まれる中、「中核市・甲府」として多岐にわたる事務権限を最大限に生かし、効率的かつ効果的な行政運営に取り組むとともに、コロナ禍による社会情勢や地域経済の変化に対応し、持続可能な財政基盤の確保に努める必要があります。

当局におかれましては、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に万全を期す中、職員の健康管理に十分配慮するとともに、第六次甲府市総合計画の施策を効果的かつ着実に推進するため、限られた財源の効率的な執行に努められるよう要望して報告を終わります。